



2011年5月8日 あいとぴあ 36号
発行 相原まちづくり協議会
責任者 理事長 土田 恭義
所在地 町田市相原町 597-56
電話 042 (774) 2982
印刷 木村印刷社 042-771-9985

大戸源流森の会が「手づくり郷土賞」を受賞



「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成22年度で25回目の開催となる国土交通大臣認定の表彰です。平成22年度は全国で22例が表彰を受けました。関東では2例という価値ある賞です。「手づくり郷土賞」の背景および目的は、その地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な資源として再認識し積極的に利用した、魅力ある地域づくり優れた地域活動を評価し「手づくり郷土賞」として表彰することにより、好事例を広く全国に紹介し、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取り組みが進むことを目指しています。表彰式は2月6日(日)大地沢の青少年センターで行われました。

また、東京都副知事・建設局長および町田市長を訪問して受賞の報告をしました。

大戸源流森の会は2003年から東京都西部公園事務所と協働(プレ・パーク事業)で大戸緑地の公園化を目指しボランティアで活動しています。会員は地元大戸町会・大自然塾生の有志を核とし

西部公園事務所職員・一般都民・相原保養会および相原まちづくり協議会の有志や学生が参加しています。年間30回延べ400人が手弁当で参加し、遊歩道の整備・敷地内の除草・間伐・標識作製に加え、地元小中学校の総合学習やPTA行事への協力を実施し地域の教育活動にも力をいれています。大戸緑地公園は4月1日に「都立大戸緑地」として一部が開園しました。全体の構想のまだ一部ですが、大戸源流森の会はこれからも魅力ある公園を目指し、活動を続けていきます。



.....相原の写真を募集しています.....

相原まちづくり協議会では、相原フェスタで「もっと相原を知ろう」をテーマに写真展を企画しています。展示する写真は一般公募にします。テーマを 相原百景 相原の自然 相原の歴史と分けそれぞれの作品を応募します。相原百景は現在の風景でこれは絶景と思われる写真をお願いします。相原の自然はズバリ相原の素晴らしい自然をとらえた写真を、相原の歴史は、相原に点在する文化財の写真に簡単な説明文を付けてください。できればデジタルでの投稿がベターです。また昔の相原を写した写真も受け付けます。カラーでもモノクロでも結構です。なお応募された作品は相原フェスタで公開する予定です。9月15日までお願い致します。公開が難しい作品はご遠慮ください。返却希望の写真はコピー作業終了後返却いたします。

応募先は・守屋松則まで相原町 1801-227 電話 042-773-5601 Eメール pinemoriya@gmail.com

相原まちづくり勉強会の視察に参加しました

現在町田市まちづくり推進課主催で進められている「相原駅周辺まちづくり勉強会」の一環として開催された『よその街のまちづくり見学』に参加しました。1月20日(木)今回参加した相原住民は30名ほどでした。

この視察を企画・コーディネートしたのは法政大学の高見教授ほかスタッフの皆さんです。



JR 茅野駅周辺の再開発した街

向かった先は長野県茅野市です。近年モータリゼーションの波で伝統的な中心市街地が空洞化してしまい、駅周辺の賑わいがなくなってしまうという全国共通の課題に住民主体で敢然と挑戦するという意欲あふれるケースです。JR 茅野駅周辺の再開発で街の魅力を創り来街者を増やし活力を見出そうというものでした。周回道路の整備・駐車場の整備・街区の歩道と建築物のセットバック・駅舎を挟む南北への自由通路・駅直結の市民館・商業ビル開発など。また町並みをそろえるために



JR 竜王駅前

街区の全体のカラーや建物の形までも統一感を持たせるように工夫しています。市民の街づくりに対する意思をコンサルタントがアドバイスしながら創り上げるプロセスを市が立会い見届けて完成

させたものだそうです。市役所で行われた説明会では、市の職員と実際街区に店舗を持つ推進委員長の方々の熱き思いがひしひしと伝わってきました。次に山梨県甲斐市の JR 竜王駅に立ち寄りしました。甲斐市は旧竜王・双葉・敷島の3町の合併で誕生した新しい市です。有名な設計家に依頼して、超近代的な駅舎を市のシンボルとして創り上



茅野の市民館

げたものでした。ただ高見教授のご指摘もありましたが、今の相原の街づくりには？が付くような内容でした。帰路のバスの中での参加者の茅野駅前の街づくりに対する感想を要約すると、

- ・街区にはまだ店舗がまばらで、人の往来もほとんど無かった。これからの出店がスムーズに行くか心配だ。
- ・やっと形は整いスタートラインに着いたばかり。駅を利用する人も少なそうだ。活気がもどるかどうか心配だ。
- ・駅に直結した市民館はすばらしい。相原にもあれば利用者は多いと思う。
- ・蓼科・八ヶ岳の入り口なのでシーズンになれば賑わうのでは。
- ・駅の利用者は相原駅のほうがかなり多い。そういう意味では相原の街づくりのほうが成功するのではないかと。等でした。

「相原駅周辺まちづくり勉強会」は今後も開催されます。いよいよ次回からは「具体的なまちづくりの計画作成」に向けて、協議する組織の立ち上げに入ります。ぜひ駅周辺以外にお住まいの方も積極的に参加されてはいかがでしょうか？みんなの知恵と考えと思いを市に伝えましょう。

レポート：大島正久

「花の町相原推進委員会」解散のお知らせ

花の町相原推進委員会は平成14年度に発足して今日まで9年間活動してまいりましたが、会員の高齢化等により継続する事が困難となりましたので、3月31日を以って解散いたしました。但し、現在植えている花が咲き終るまで管理を継続いたします。その後を引き継いで頂ける方・グループを募集しております。相原地区連合町内会および各町会・相原保養会・相原まちづくり協議会・相原JAO会には多大なご支援を請け賜り厚く御礼申し上げます。また、多くの方々のご支援ご協力に感謝申し上げます。

平成23年3月31日 花の町相原推進委員会役員一同

保善会だより・・・「よみがえった大地沢を歩こう」

大地沢の森林は相原の貴重な緑の森の宝として守り継がれてきました。この貴重な森林を後世に大切に残すために平成19年9月の理事会で大地沢森林整備専門部会が設立されました。東京都環境局自然環境部計画化森林係が窓口となり、森林の公益的な機能にそって「色彩ゆたかな森林事業」を柱に森林全体を4分割して再生整備5ヵ年計画を立案し、事業が開始されました。はじめは一區



分帯の11ヘクタール(登山道付近)の下草刈りでした。大地沢の急斜面の下草

刈りは大変な難作業です。下草刈りが進み登山者の方から「きれいになりますね」と励まされ作業は順調に進み、杉の木の向こうに青い空が見えてきました。

【ところが、大変なことに】平成20年8月末、夜間の豪雨は濁流となり木々を押し流し大地沢を襲いました、源流橋は跡形もなくなり猛烈な濁流は青少年センター前の道路を埋め尽くしました。職



員の方は、宿泊の皆さん全員の無事を第一に確認しました。翌朝から職員は総動員で懸命に土砂の除去をしました。早朝保善会に災害の連絡があり、在宅者役員を動員しました。源流のいたる所に土砂や流木があり「色彩ゆたかな森林事業」を中断して災害の復旧に東京都と町田市の援助をいただき全力を尽くし懸命に進めてきました。



あれから2年半、清らかな境川の源流はよみがえり江ノ島へと注いでいます。草戸山岩筋くまどやまからの小さな流れがせせらぎとなり、その流れを助けるかのように沢コゲからの可愛いしずくが流れを増し、源流橋をくぐり小

石をよけながら林道に沿って流れ、水音が優しくよみがえり「大地沢において」とささやいているようです。

保善会 吉野記



相原駅西口広場へ向かう都市計画道路の工事状況

ここ何年もの間、空き地化していた用地でしたがやっと形の一部が見え出してきました。平成23年1月より八千代銀行前交差点からの南北道路(3・4・49線)の歩道部分工事を主体に駅前まで(4・4・47)の仮設歩道が出来ました。車道部分はまだ使用できる状態にはなりませんが南北道路の歩道は平成23年3月より使用出来るようにな

りました。通勤、通学時には多数の方が利用され、人の回遊も新しいものになりました。4月より歩道部分の美化工事も始まる予定です。まだ雨水管、下水道管、水道と共同溝(電気、通信、)工事をしなければ本格的な道路とはいえません。相原駅西口広場に皆様のご利用のバスやタクシーが入り、人が集まる日を早く実現したいものです。



「相原寄席」相原地区連合町内会主催 ソフトボールに代わる規交流事業として開催しました

相原寄席は平成23年3月6日(日)堺市民センターで開催されました。当日はプロの落語家 三遊亭きつつきさんを始め桜美林大学、法政大学、東海大学、拓殖大学、青山学院大学の落語研究会の学生さんがプロの公演に負けない熱演をしました。10時より16時までの間に400人を超える皆様が来場されました。この催しは相原地区連合町内会主

催新規交流事業として相原住民の皆さんに1日、笑いと楽しい時間を提供できるよう連合町会の役員で企画、運営をされました。今までのソフトボール大会に代えて事業を試みたものです。これからも住民の皆様に喜んで頂けるように新しい企画も含め継続して行くとのことです。

平成23年度相原地区連合内会役員名

会長	丸山会長	木下 薫範	会長代行	中相原会長	小林 茂
副会長会計	元橋会長	小泉 経男	副会長会計	丸山団地会長	五十嵐 知子
副会長監査	仲町会長	諏訪 賢一	副会長監査	陽田会長	鈴木 寿幸
副会長庶務	境会長	渡辺 展亨	副会長庶務	大戸会長	井川 光夫
副会長庶務	坂下会長	鮫島 則政	副会長庶務	武蔵岡会長	渡代 真知子
副会長庶務	中村会長	加藤 良二			

「まちテレ」で相原が紹介されます

町田市公式HPに「まちテレ」という動画サイトがあります。これは町田市の広報番組で、隔週1本の割合で新作がアップロードされています。内容は多岐にわたります。1作が5分間の番組になっています。この「まちテレ」で相原が紹介されます。

相原駅前からスタートして、中村百年桜・中央公園・お大日様・開都に抜ける鎌倉古道等が5分間の番組に編集されています。撮影は4月7日におこなわれました。放送開始は4月29日第55回になります。また4月29日には前回記事にしました「相

原観光MAP」の配布が開始されます。市民センターや郵便局・レストラン・学校等公共施設に持ち帰り用として配布されます。ぜひ散歩のお供として活用してください。



まちテレ

・相原遺産・清水寺でご開帳法要と記念講演会がありました

清水寺の階段を上りきったところに観音堂があります。この観音堂は1850年(寛永元年)青木勘次郎易道ら村民の手により整備されました。特に四方に施された彫刻は見ごたえがあります。現在町田市有形文化財に指定されています。このお堂の中の厨子の中には観音様(観世音菩薩像)が安置されています。観音様は「相原観音」とか「坂下観音」と呼び親しまれています。ただ12年に1度(卯年)しか厨子の扉は開けられません。(ご開帳)今年はその卯年に当たり4月1日からご開帳法要は始まりました。特に4月13日(水)には京都清水寺貫主森清範師による特別記念法

話や、ドライ・ラマ写真展 バイオリン演奏 境内では野点や模擬店で飲食類の無料接待が行われ、一般の方を含め400名以上の参拝者を迎え盛大に行



観音堂



森清範師

われました。次のご開帳は2023年(卯年)です。

この度の東北関東大震災では、非常に多くの方々がお亡くなりになり、そして被災をされました。ここに改めましてお悔やみとお見舞いを申し上げます。災害復興に向けすべての国民が我が事として受け止め、誰もが少しでも役に立ちたいと全国で行動をおこしています。そして報道に触れるたびに人々の心のつながりの大事さを痛感しています。わたしたち相原まちづくり協議会でもこの心のつながりを大切に、今後とも地域の皆さんとともに「安全で安心なまちづくり」に取り組んでまいります。

相原まちづくり協議会理事長 土田恭義

